

【ご案内】

「家庭科の授業を語る会（第200回）」の開催

三寒四温で季節が移り変わっていきます。年度末でお忙しくされていることでしょう。

さてこの3月で「家庭科の授業を語る会」も第200回を迎えることになりました。ささやかな会ではありますが“小・中・高・大の家庭科にかかわる皆さんのがつながる”ことを目指して、継続は力なりとここまで続けてきました。今回はその足跡を振り返るとともに、ICT活用時代の“各授業時間の内容を振り返るため”的まとめ方について検討してみたいと考えています。**対面とオンライン**のハイブリッド開催です。遠の方の方もどうぞお気軽にご参加下さい。なお、zoomのアドレスがこれまでとは異なりますのでご注意下さい。

●日 時 : 2025年3月15日(定例の第3土曜日) 午後2時から午後4時(参加費:無料)

●場 所 : 宮崎大学教育学部技術・家庭科棟 T211教室

Zoomでのご参加は、下記のアドレスに接続下さい↓

<https://us02web.zoom.us/j/82555748274?pwd=PGhkoWy4Nff2eigG9GYazWimO5rYa5.1>

○ミーティング ID: 825 5574 8274 ○パスコード: 1Bbg6u

●話 題 : 「家庭科の授業を語る会」の軌跡

ICTを併用した“授業を振り返るため”的まとめ方

●話題提供者: 伊波富久美(宮崎大学), 梨岡さくら・吉田舞(宮崎大学院生・研究生)

「家庭科の授業を語る会（第199回）」（2025年2月15日）の報告

○話 題 : 安全な住まい・安全な暮らし(家庭内事故への備え・幼児)

○話題提供者: 甲斐みゆき(小林中学校)

第199回の家庭科の授業を語る会では、小林中学校の甲斐先生に、安全な住まい・安全な暮らし(家庭内事故への備え・幼児)というテーマで話題提供をして頂きました。

ICTを活用した授業づくりとして、授業の中でタブレットのカメラ機能やスカイメニューなどを利用することで、実感を伴った体験的活動や友達と意見共有を取り入れた実践を行っていました。

特に印象に残ったのは、幼児の特徴について理解させる学習場面で、カメラ機能を使って同じ場所を大人、生徒、幼児の目の高さから3枚の写真を撮らせる活動です。この活動を通して大人と幼児の目線の違いに気付くことができ、幼児のもっと上の景色を見てみたいという気持ちを理解することにつながっていました。他にも、意見を交流させる場面では、「ふきだしきん」というサイトを活用されており、自分と他者の意見を効果的に比較することができました。ふきだしの色を対象の事例ごとに色分けさせていたことで見やすくわかりやすくなるよう工夫していました。

また、授業中に生徒に示す資料や動画につながりがあり、教材研究がくまなく行われていると感じました。教科書に載っている資料だけでなく、インターネット上から指導したい内容に合わせた資料をもってこられていました。私も授業の目的に合わせて活用していきたいと思いました。（文責：御手洗）

連絡先: 家庭科の授業を語る会(事務局)

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美(大学院教育学研究科) : Tel/Fax 0985-58-7539(直通)

: メールアドレス e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp

大矢 英世 (教育学部) : Tel/Fax 0985-58-7542(直通)

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ: <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>

●旧Twitter: [fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために https://twitter.com/BOH0pr7qtF2EVwi](https://twitter.com/BOH0pr7qtF2EVwi)